

第6次地域保健医療計画の平成29年度取組実績

(市町・保健所)

別紙3（市町（国民健康保険及び教育委員会を含む。）、保健所）

第6次地域保健医療計画の平成29年度取組実績調査票

1 脳卒中医療

（目標）

予防重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。
 脳卒中の予後改善を図るため、病院前救護から急性期・慢性期の治療やリハビリ、在宅医療までの医療連携体制の構築を推進します。
 利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」の地域連携クリティカルパスを活用するなど、プレホスピタル・ケアから在宅医療に関わる複数の機関における患者情報の共有化を図り、良質な医療提供に努めます。
 患者が病期に応じ、適切なケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	平成29年度取組実績	評価	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	高血圧等脳卒中ハイリスク者に対する保健指導の充実	行田市	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援の実施） ○特定健診結果の受診勧奨値の者に、必要に応じて受診勧奨を実施	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施（動機づけ 73名、積極的支援 5名） ○健診結果の受診勧奨値者に受診勧奨の実施（110人）	A	保険年金課
		加須市	○保健師、管理栄養士による健康相談の実施 ○重点健康相談（高血圧予防）の実施	○保健師、管理栄養士による健康相談を実施した。（重点健康相談447人、総合健康相談565人） ○重点健康相談（高血圧予防、糖尿病予防）を実施した。	A	健康づくり推進課
		久喜市	○健康相談及び栄養相談を実施する。 ○特定保健指導を実施する。	○保健師や栄養士等による相談を実施した。（H.29実績 延べ2,520人） ○特定保健指導を実施しました。（平成29年度実績：延べ149人）	A	中央保健センター
		蓮田市	○健康相談を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○特定保健指導対象外で高血圧や脂質異常症、糖尿病等リスクの高い者に対して、健康相談を実施する。 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に対しては、必要に応じて受診確認及び受診勧奨を実施する。	○特定健診結果配布時に医療機関から健康相談の案内を配布し定例健康相談の周知を図った。また特定健診結果で特定保健指導対象外の者へ電話による健康相談を実施した。 ・定例健康相談実施数 8回 48名 ・特定保健指導実施数 99名 ・特定保健指導対象外者への電話健康相談数 112件	A	健康増進課
		幸手市	○特定保健指導実施時、高血圧、高脂血症、高血糖、肥満傾向の有る方に生活習慣の見直しなどの保健指導を実施する。 ○成人健康相談で健康相談を実施する。	○特定保健指導実施時、高血圧、高脂血症、高血糖、肥満傾向のある人に生活習慣の見直しなどの保健指導を実施 ○毎月1回の成人健康相談や食生活相談、健康福祉まつり等で健康相談を実施。47回、342人	B	健康増進課
		白岡市	○特定健康診査（集団）結果説明会を利用し、希望者に個別健康相談を実施する。 ○パンフレット等の配布を行い、疾患に対する知識の普及啓発を行う。 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に、受診勧奨方法を検討	○特定健康診査（集団）結果説明会を利用し、希望者に個別健康相談を実施した。 ○パンフレット等の配布を行い、疾患に対する知識の普及啓発を行った。 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に、受診勧奨を実施した。（集団健診受診者のみ）	A	保険年金課
		宮代町	○特定保健指導を実施する。	○特定保健指導94名（積極的：14名 動機付け：80名）実施	A	健康介護課 健康増進担当
		幸手保健所	○保険者、事業所、健診機関等の関係者を対象にした会議や研修会の開催	○市町健康づくり・栄養担当者会議の実施（5/30、15人） ○保険者、事業所、健診機関等の職員、保健指導従事者を対象にした研修会の実施（11/10 33人、12/13 31人）	A	総務・地域保健推進担当 保健予防推進担当
市町（国民健康保険、教育委員会及び消防機関を含む）保健所	医療機関と消防機関との連携によるプレホスピタル・ケアの充実	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」が持つ救急現場での患者情報参照機能等について、医療機関、消防機関及び住民への普及啓発を行い、利用を促進する。 ○市内救急告示病院事務長との連絡調整会議を開催する。	○市ホームページに掲載するとともに、防災訓練等で、「とねっと」の救急面での活用についてPRを行い、普及啓発に努めた。 ○市内救急告示病院事務長との連絡調整会議を開催し、救急搬送における現状と課題等について意見交換を行った。 （第1回 平成29年7月18日、第2回 平成29年12月14日）	A	医療体制推進課
		幸手保健所	○救急医療対策協議会による、各医療機関及び消防機関との連携の推進	○東部北地区救急医療対策協議会の開催（H30/1/31、出席者27人）	A	総務・地域保健推進担当
		加須保健所	○救急医療対策協議会において、各医療機関及び消防機関との連携を図る。	○H30.1.31 東部北地区救急医療対策協議会及び小児救急医療部会会議を開催 出席者27人	A	総務・地域保健推進担当

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	地域連携クリティカルパスを活用した医療連携体制の整備	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の連携バス機能について、医療機関等への普及啓発を行い、利用を促進する。	○「とねっと」の協議会総会や協議会だよりを通じて、医療機関等に連携バス機能の利用を呼びかけるなどし、普及に努めた。	A	医療体制推進課
		加須保健所	○地域連携クリティカルパス等を利用した医療連携体制の支援に努める。	○参加医療機関110施設 参加者30,714人 地域医療ネットワークシステム「とねっと」	A	総務・地域保健推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への情報提供	加須市	○埼玉県救急医療情報センター、埼玉県医療機能情報提供システム及び夜間・休日における市内在宅当番医等の情報を、広報紙、ホームページ等で情報提供する。 ○市内救急告示病院事務長との連絡調整会議を開催する。	○毎月発行の「市報かぞ おしらせ版」や市ホームページに埼玉県救急医療情報センター、埼玉県医療機能情報提供システム及び夜間・休日等における市内在宅当番医等の情報を掲載し、市民に情報提供した。 ○市内救急告示病院事務長との連絡調整会議を開催し、市民への情報提供等について意見交換を行った。 (第1回 平成29年7月18日、第2回 平成29年12月14日)	A	医療体制推進課
		幸手保健所	○医療機能情報システムによる、住民に対しての必要な医療機関、医療機能等の情報提供の推進	○医療機能情報システムによる医療機能等の情報提供の推進（依頼件数450、提出件数389、進捗率86.4%）	A	総務・地域保健推進担当
		加須保健所	○医療機能情報システムを活用し、住民に対して、必要な医療機関、医療機能等の情報提供を推進する。	○医療機能情報システムによる医療機能等の情報提供の推進（依頼件数258、提出件数236、進捗率91.5%）	A	総務・地域保健推進担当

2 糖尿病医療

(目標)

特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、自覚症状のない早期の段階で、生活習慣の改善を図り、ＱＯＬの向上のため糖尿病予防に努めます。

早期診断された患者の悪化防止のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。

初期・安定期の治療や保健指導について、かかりつけ医と専門医療機関が地域で共通したパスを活用した情報提供システムの普及啓発を目指し、病院と診療所の連携強化を図ります。地域の管理栄養士等の質の向上と指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	平成29年度取組実績	評価	担当課名
市町(国民健康保険及び教育委員会を含む)保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	行田市	○特定保健指導(動機づけ支援、積極的支援の実施)	○特定保健指導(動機づけ支援、積極的支援)の実施(動機づけ73名、積極的支援5名)	B	保険年金課
		加須市	○保健指導プログラムを基に、特定保健指導を実施していく。	○保健指導プログラムを基に、特定保健指導を実施していく。	A	健康づくり推進課
		羽生市	○特定健診にe-GFR値の検査を実施 ○受診勧奨2回実施 ○特定健診受診券同封案内に、土曜日健診実施医療機関を掲載する。 ○夏祭り・福祉健康まつり、東部地区共同での受診勧奨PRを実施	○特定健診にe-GFR値の検査を実施 ○受診勧奨2回実施(9月・11月) ○特定健診受診券同封案内に、土曜日健診実施医療機関を掲載する。 ○夏祭り・福祉健康まつり、東部地区共同での受診勧奨PRを実施	A	国保年金課
				○啓発用ポロシャツの着用、公用車へのマグネットの貼用、公民館等へののぼり旗の設置	A	健康づくり推進課
		久喜市	○未受診者へ受診勧奨はがきを送付。 ○若い世代への浸透を狙い、SNS(市公式フェイスブック、ツイッター)による受診啓発を行う。 ○本庁および各支所窓口、実施医療機関等に、受診啓発スローガンやポスターを掲示する。 ○特定健康診査実施期間中、国民健康保険課職員が特定健診PR用ポロシャツを着用し、特定健康診査の啓発を行う。 ○市民まつり、健康食育まつり等において、特定健診PR用のポロシャツを着用し、啓発品の配布と共に受診勧奨を行う。 ○視覚的PRの充実のため、久喜市けんこう大使である、ゆるキャラのイラストを使用する。(→掲示用スローガン、ポスター、受診勧奨はがき、啓発品、PR用ポロシャツ、特定保健指導受診券送付用封筒等) ○特定健康診査実施医療機関に治療中の方への受診勧奨の協力依頼を行う。	○受診勧奨はがき1回(9月初旬26,982通送付)。 ○12月フェイスブック、ツイッターに特定健診受診勧奨について掲載。 ○本庁・各総合支所市民戸籍係(4箇所)に「特定健診おはやめに」を掲示。 ○実施医療機関(45か所)、本庁・各総合支所(4か所)、保健センター(4日か所)に特定健診ポスター掲示。 ○のぼり旗本の掲示本庁・各総合支所(4か所) ○本庁・各総合支所・保健センター窓口でPR用ポケットティッシュ2,000個 ○市民まつり等のイベントに参加(5日間) ○本庁職員で6月~12月の毎週月曜日ポロシャツ着用28日間(20名) ○東部地区共同PRイベントに参加(1日)啓発品をイベントで配布(特定健康診査PR入りポケットティッシュ合計4,000個配布、特定健康診査PR用ボールペン300本) ○健康大使ゆるキャライラストを使用(掲示用スローガン、ポスター、受診勧奨はがき、啓発用ポケットティッシュ、PR用ポロシャツ、特定保健指導受診券送付用封筒) ○特定健康診査等医療機関説明会にて、医療機関に治療中の方への受診の協力依頼を行なった。	A	国民健康保険課
				○特定保健指導対象者への案内通知を送付する。 ○特定保健指導の未利用者に対し、電話、訪問、郵便等による利用勧奨を実施する。 ○保健指導従事者の資質向上のため、研修会へ参加する。	特定保健指導対象者への案内通知を送付した。(1,264件) 特定保健指導の未利用者に対して、電話、郵送による利用勧奨を実施した。(694件) 職員が、資質向上のために研修会に参加した。	A
		蓮田市	○特定健診の結果で医療が必要と思われる者に対し、受診勧奨を実施する。 ○特定保健指導対象者に対しては、実施率が向上するよう案内通知等の工夫や電話や訪問等による利用勧奨を実施する。 ○特定保健指導対象外で保健指導が必要な者に対して、健康相談等を実施する。	○特定健診結果で受診勧奨値の者に対して、電話による健康相談を実施し重症化の予防に努めた。また、特定保健指導の実施率が向上するよう利用勧奨の充実を図った。 ・特定保健指導対象外者への電話健康相談数112件 ・特定保健指導対象者へのはがき及び電話による利用勧奨を実施 ・特定保健指導の利用申込のなかった者に対し再度別日程の案内通知を送付	A	健康増進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	幸手市	<p>○特定健診（集団健診）を受診した40～74歳の方に対し、結果説明会を実施し、必要に応じて受診勧奨や、食生活相談・糖尿病教室への参加を勧める。</p> <p>○特定保健指導の未利用者に対して、通知、電話等による利用勧奨を実施する。</p> <p>○庁舎内や公用車に特定健診の受診勧奨のポスターなどの掲示を行い、受診者数向上を図る。</p>	<p>○特定健診（集団健診）の受診者に対し、結果説明会を実施し、必要に応じて受診勧奨や健康相談・健康教育を案内した。2,964人</p> <p>○特定保健指導の未利用者に対して、健診結果郵送とともに通知で利用勧奨を実施した。44人</p> <p>○庁舎内や公用車に特定健診の受診勧奨のポスターなどの掲示を行い、受診者数向上を図った。</p> <p>○集団健診は土日を開催するとともに、がん検診と同時実施をしている。</p>	A	健康増進課 保険年金課
		白岡市	<p>○集団健診を夏期・秋期の6日間実施。うち1日のみ日曜日実施。また、がん（胃・肺）検診と同時開催することで受診しやすい環境を整える。</p> <p>○コールセンターを設置して受診勧奨を実施。また、未受診者には、はがきにて受診勧奨を実施</p> <p>○集団健診の結果説明会で、特定保健指導対象者には、初回面接を行い利用率の向上を図る。</p> <p>○継続受診を促すため、啓発用品を配布する。</p> <p>○各種団体の総会などで特定健診等の周知啓発を実施。東部地区における特定健診受診促進合同PRキャンペーンに参加</p> <p>○個別健診実施医療機関にのぼり、ポスターを配布し特定健診のPRを実施</p>	<p>○集団健診を夏期・秋期の6日間実施。うち1日のみ日曜日実施。また、がん（胃・肺）検診と同時開催することで受診しやすい環境を整えた。</p> <p>○コールセンターを設置して12日間受診勧奨を実施。また、未受診者には、はがきにて受診勧奨を11月に実施した。</p> <p>○集団健診の結果説明会で、特定保健指導対象者には、初回面接を行い利用率の向上を図った。</p> <p>○継続受診を促すため、啓発用品を配布した。</p> <p>○各種団体の総会などで特定健診等の周知啓発を実施し。東部地区における特定健診受診促進合同PRキャンペーンに参加した。</p> <p>○個別健診実施医療機関にのぼり、ポスターを配布し特定健診のPRを実施した。</p>	A	保険年金課
		宮代町	<p>○特定保健指導において案内通知や電話による利用勧奨を行う。</p> <p>○対象者に沿った特定保健指導を実施する。</p> <p>○集団特定健診を受診した40代の方に、検査結果に沿った情報提供を行う。</p>	<p>○特定保健指導対象者に案内通知を出し、利用勧奨に伴う電話連絡を123人に実施</p> <p>○特定保健指導実施者数94人（積極的：14人 動機付け：80人）。そのうち、個別相談32人、栄養教室27人、運動教室延べ416人、血液検査61人に実施（7月末時点）。</p> <p>○集団健診を受けた40代58人に、検査結果に沿ったリーフレットを送付</p>	A	健康介護課 健康増進担当
			<p>○町内の個別健診実施医療機関にのぼり・ポスターを配布して、特定健診をPRする。</p> <p>○集団健診の予約開始前に、新40歳の方及び昨年度集団健診の受診実績がある方に受診予約勧奨通知を送付する。</p> <p>○新40歳の方及び過去3年で受診実績のある方のうち、集団健診を未申込の方に受診勧奨通知を送付する。</p>	<p>○町内の個別健診実施医療機関にのぼり・ポスターを配布し、設置してもらうことにより、特定健診受診促進のPRができた。</p> <p>○集団健診の予約開始前に、新40歳の方及び昨年度集団健診を受診された方などに、受診予約勧奨通知を送付した。（1,330件）</p> <p>○過去3年で受診実績がある方のうち、集団健診を未申込みの方全員に受診勧奨通知を送付した。（1,182件）</p>	A	住民課 国民年金担当
		杉戸町	<p>○集団健診は土・日も開催するとともに胃がん検診、肺がん検診、大腸がん、前立腺がんと同時実施することにより、受診しやすい環境を整える。</p> <p>○受診勧奨はがきを発送する。</p> <p>○集団健診の結果相談会で、特定保健指導の対象者には初回面接を行い、利用率の向上を図る。</p>	<p>○特定健診 集団・個別健診実施。</p> <p>○集団健診の土日開催、がん検診と同時に実施。</p> <p>○特定健診受診者数：2,609人 受診率：29.2%（H30.4月集計分まで）</p> <p>○インターネット先行予約を実施。</p> <p>○41歳の方に無料クーポン券を送付。</p> <p>○40～74歳までの特定保健指導対象者に結果相談会を実施。特定保健指導（初回面接）実施者数：145人</p>	A	健康支援課
		幸手保健所	<p>○保険者、事業所、健診機関等の関係者を対象にした会議や研修会の開催</p>	<p>○市町健康づくり・栄養担当会議の実施（5/30、15人）</p> <p>○保険者、事業所、健診機関等の職員、保健指導従事者を対象にした研修会の実施（11/10 33人、12/13 31人）</p>	A	総務・地域保健推進担当 保健予防推進担当
		加須保健所	<p>○保健指導担当者の資質向上を目的として、研修会を開催する。</p> <p>○研修会を通じ、市町村データヘルス計画等の策定、評価の支援を行う。</p>	<p>○保健指導スキルアップ研修会を開催 H30.1.11 31人参加</p> <p>○健康課題対策会議（健康長寿のための情報担当者会議）を開催 H29.8.29 12人参加</p>	A	保健予防推進担当
		市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	糖尿病患者の教育プログラムの充実	行田市	<p>○糖尿病個別相談の実施</p> <p>○血液サラサラ教室（糖尿病及び腎臓病予防を盛り込んだ内容）の実施</p> <p>○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムの実施</p>	<p>○糖尿病個別相談を実施した。（5回 参加者数5人）</p> <p>○血液サラサラ教室の実施。（2日間1コース 参加者数 述べ68人）</p> <p>○糖尿病性腎症重症化予防事業の実施（受診勧奨、保健指導） 勧奨により受診12名 保健指導23名 継続支援保健指導者6名</p>
					A	保険年金課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	糖尿病患者の教育プログラムの充実	加須市	○健康相談等での保健指導、栄養指導を実施 ○重点健康相談（糖尿病予防）実施	○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施。（保健指導終了者11人）	A	国保年金課
		羽生市	○埼玉県方式として国保連と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施 ○H28年度生活指導実施者に対し継続支援を実施	○埼玉県方式として国保連と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施 ○H28年度生活指導実施者に対し継続支援を実施	A	国保年金課
		久喜市	○健康相談及び栄養相談を実施し、重症化予防を図る。	○健康相談及び栄養相談を実施し、重症化予防を図った。	A	中央保健センター
		蓮田市	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施する。 ○市民健康講座として糖尿病予防を含む内容の講座を実施する。 ○健康相談を実施し、重症化予防を図る。	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業 ①受診勧奨：11名 ②保健指導：27名 ○市民健康講座 血管げんき教室：76名 ○定例健康相談 実施回数 8回 糖尿病についての相談者 延べ8名	A	健康増進課
		幸手市	○健康相談・栄養相談等での保健・栄養指導の実施 ○特定健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施 ○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムの実施 ○市内の専門医による講話を実施（糖尿病、腎臓病）	○健康相談・栄養相談等での保健・栄養指導の実施（市内医療機関からの紹介ケースもあった）（健康相談 12回延54人、栄養相談 27回、延61人） ○特定健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施 ○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムを6ヶ月実施（8人参加） ○糖尿病予防教室（医師講話 26人参加）、腎臓病予防教室（医師講話および管理栄養士による講話と調理実習 2日間延べ43人参加）	A	健康増進課 保険年金課
		白岡市	○埼玉県共同事業の「生活習慣病重症化予防対策事業」に参加	○埼玉県共同事業の「生活習慣病重症化予防対策事業」に参加した。	A	保険年金課
		宮代町	○集団特定健診においてHbA1c値が基準以上であった方に、改善に向けた教室を開催する。 ○糖尿病性腎症重症化予防事業の実施 ○対象者の範囲を広げることを目的とし、今年度より近隣市町（杉戸町・春日部市）と連携して事業を実施する。	○血糖コントロール教室29名（延べ81名）に実施。 ○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施し、15名の保健指導を実施した。 ○近隣市町（杉戸町、春日部市）と連携して事業を実施することにより、対象者の範囲を広げることができた。（4人）	A	健康介護課 健康増進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	糖尿病地域医療連携システムの構築	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の連携バス機能について、医療機関等への普及啓発を行い、利用を促進する。	○「とねっと」の協議会総会や協議会だよりを通じて、医療機関等に連携バス機能の利用を呼びかけるなどし、普及・啓発に努めた。	A	医療体制推進課
		久喜市	○保健指導従事者の資質向上のため、研修会へ参加する。	○職員の資質向上のため、研修会に参加した。	A	中央保健センター
		蓮田市	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。 ○糖尿病性腎症重症化予防事業にて、通院中の方の保健指導については、かかりつけ医と情報共有を行う。	○糖尿病性腎症重症化予防事業にて、通院中の方の保健指導については、かかりつけ医と情報共有を行った。 ○医師会の報告会にて、事業の進捗状況を報告した。	A	健康増進課
		幸手保健所	○保険者、事業所、健診機関等の関係者を対象にした会議や研修会の開催	○市町健康づくり・栄養担当会議の実施（5/30、15人） ○保険者、事業所、健診機関等の職員、保健指導従事者を対象にした研修会の実施（11/10 33人、12/13 31人）	A	総務・地域保健推進担当 保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	糖尿病治療及び保健指導を担う専門職の質の向上	行田市	○保健指導従事者の研修会への参加	○保健指導従事者の研修会への参加	A	保健センター
		加須市	○研修会等への参加	○研修会等へ参加した。	A	健康づくり推進課
		幸手市	○各種研修に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○特定健診・保健指導、生活習慣病重症化予防等各種研修に参加し資質の向上を図った。	A	健康増進課
		白岡市	○保健指導従事者の資質向上のため研修会に参加	業務と重なり出席できず。	C	保険年金課
		宮代町	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○資質向上のため、研修会等へ参加。	A	健康介護課 健康増進担当
杉戸町	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図った。	A	健康支援課		

3 在宅医療

(目標)

安心して在宅医療へ移行してもらうための環境づくりに努めます。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護職員など多職種が連携したチームで、患者、家族をサポートする体制を構築します。

かかりつけ医とかかりつけ医を支援する地域の中核病院の連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	平成29年度取組実績	評価	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	在宅医療機関と入院医療機関の連携推進	加須市	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した情報共有及び医療連携の推進 ○北埼玉在宅医療連携室への支援 ○在宅療養後方支援ベッドの確保及び周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の総会、作業部会、システムWG会議、行政会議で地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した、多職種間の連携や情報共有等について協議を進めた。 ○北埼玉在宅医療連携室との連携 ○高齢者相談センター（地域包括支援センター）への在宅療養後方支援ベッドに関する情報提供 	B	医療体制推進課 高齢者福祉課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	医療と介護が連携した多職種協働の推進	行田市	<ul style="list-style-type: none"> ○行田市在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、医療と介護連携の情報共有ツールの運営ルール、多職種研修の内容、切れ目のない在宅医療・介護提供体制の構築の検討を行う。また、具体的解決にむけ専門部会を立ち上げ解決策を検討。 ○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会を引き続き実施 ○介護資源マップの管理、更新 ○機能強化型地域包括支援センターを設置し、業種別介護事業所団体との連絡、連携を図る。 ○医師会導入の情報共有システム（MCS）の普及 ○三師会・市、機能強化型地域包括支援センターとのミーティングを継続 ○県から医師会へ委託している在宅医療推進拠点の平成30年度県から市への事務移譲における準備 	<ul style="list-style-type: none"> ○行田市在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、医療と介護連携の情報共有ツールの運営ルール、多職種研修の内容、切れ目のない在宅医療・介護提供体制の構築の検討を行う。また、具体的解決にむけ専門部会を立ち上げ、解決策を継続的に検討している。 ○多職種の顔の見える関係づくりとして第5回合同意見交換会として厚労省職員、先進的取り組みを行っている医師による研修を実施した。 ○介護資源マップの管理を実施。 ○機能強化型地域包括支援センターを設置し、業種別介護事業所団体との連絡、連携を図った。 ○医師会導入の情報共有システム（MCS）の普及に取り組み、利用者数が増加した。 ○三師会・市、機能強化型地域包括支援センターとのミーティングを12回開催。 ○県から医師会へ委託している在宅医療推進拠点が平成30年度に市へ事務移譲され、「行田市在宅医療支援センター」として運営している。 	A	高齢者福祉課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	医療と介護が連携した多職種協働の推進	加須市	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療・介護連携推進委員会の開催 ○北埼玉在宅医療連携室への支援 ○ICT「北彩あんしんリング」の普及 ○市民への普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療・介護連携推進委員会（分科会）の開催（年4回） ○北埼玉在宅医療連携室と連携し、ICT「北彩あんしんリング」に関する情報提供・参加呼びかけ ○在宅医療・介護に関する啓発用リーフレットの改訂・配布 	B	高齢者福祉課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療・介護連携のための相談窓口の設置 ○在宅医療・介護体制の仕組みを、在宅医療・介護連携推進会議により検討 ○検討、決定した内容を各関係機関へ周知 ○在宅医療・介護連携の仕組みについて市民へ周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成30年度より郡市医師会へ相談窓口設置するための協議を加須市と実施 ○協議、決定した内容を市の在宅医療・介護連携推進会議にて周知 ○介護サービス・医療機関等情報に関するアンケート調査を実施 	C	高齢介護課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ○久喜市在宅医療・介護連携推進会議を開催し、8項目についての課題やその対応について協議する。 ○在宅医療・介護関係者の研修会を実施し、顔の見える関係作りにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○久喜市在宅医療・介護連携推進会議を開催し、8項目についての課題やその対応について協議した。（3回） ○在宅医療・介護関係者の研修会を実施し、顔の見える関係作りを構築した。（2回） 	A	介護福祉課
		蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> ○「蓮田市、白岡市、宮代町在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協定書」に基づき、医療・介護関係者連携会議及び研修会を開催し、現場レベルでの多職種協働を推進する。 ○医療・介護関係組織、団体の代表者で構成される代表者会議を開催し、多職種協働のための体制構築、施策化を図る。 ○多職種が連携しやすいよう在宅医療連携ガイドを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療・介護関係者連携会議を3回、多職種が参加する研修会を3回開催し、現場レベルでの多職種協働を推進した。 ○医療・介護関係組織、団体の代表者で構成される代表者会議を2回開催し、多職種協働のための体制構築、施策化を図った。 ○在宅医療・介護資源実態調査を実施し、在宅医療連携ガイドを作成・公表した。 	A	在宅医療介護課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	医療と介護が連携した多職種協働の推進	幸手市	<ul style="list-style-type: none"> ○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 ○幸手市、杉戸町での共同実施における協定を締結し事業を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 2回 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 ・在宅医療・介護マップの作成・発行 ・ケアカフェ（在宅医療・介護連携推進研修会）の実施 6回 ・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動 ・介護支援専門員研修 1回 ・市民のつどいの開催 1回、参加者115人 ・事例検討会議（地域包括ケア会議）の実施 6回 ・在宅医療・介護の理解促進のためのリーフレット作成 ・サロン等での健康相談（暮らしの保健室）17ヶ所 ・住民主催の地域ケア会議の開催 2回 	A	介護福祉課
		宮代町	<ul style="list-style-type: none"> ○多職種連携が「ド」の追加修正 ○多職種連携会議の開催 ⇒二市一町（蓮田市・白岡市・宮代町）共同事業により ○地域包括支援センター・看護師・ケアマネを対象にした研修会の開催 ⇒二市一町（蓮田市・白岡市・宮代町）共同事業により ○「難病支援連絡会議」の開催（埼玉県難病連絡協議会共催） 	<ul style="list-style-type: none"> ○多職種連携が「ド」の追加修正を実施し、町ホームページにより公表した。 ○多職種連携会議の開催（蓮田市、白岡市とともに実施 年3回） ○地域包括支援センター・看護師・ケアマネ等を対象にした研修会の開催（蓮田市、白岡市とともに実施 年3回） 	A	健康介護課 高齢者支援担当
		幸手保健所	○「難病支援連絡会議」の開催（埼玉県難病連絡協議会共催）	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療等支援連絡会議の実施（6/29 19人、3/15 19人） ○難病対策地域協議会（1/25 17人） 	A	保健予防推進担当
		加須保健所	○難病対策地域協議会を設置し体制整備を図る。	○難病対策地域協議会を開催 H30年1月25日 25人出席	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	地域完結型医療の推進	加須市	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の普及啓発に努め、かかりつけ医と中核病院の連携を強化し、地域完結型医療を推進する。	○市報かぞや市ホームページ等を活用し、「とねっと」の普及啓発とともに地域完結型医療の推進に努めた。	A	医療体制推進課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ○「とねっと」によるITを活用した医療連携を推進し、地域の限りある医療資源を有効に活用することにより、地域完結型医療の推進を図る。 ○市民の皆さんに医療の現状を認識していただき、限られた医療資源を有効に活用していただけるよう、市、市民、医療機関等の3者が一体となって、地域医療を考え、推進していくため、講演会及びシンポジウムを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「とねっと」の活用による医療連携の推進を図ることにより、地域完結型医療の推進を図った。 ○平成29年12月17日、栗橋文化会館において「地域医療フォーラム」を開催した。内容は、基調講演とパネルディスカッションの2部構成で、基調講演では大学教授に講師を依頼、パネルディスカッションでは、市長、医師会会長、中核病院院長、住民代表がパネリストとして参加いただき、それぞれの立場から地域の医療に対する意見を述べていただいた。 	A	健康医療課
		宮代町	○埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会を構成する医師会、中核医療施設、保健所及び7市2町の自治体とともに、地域医療ネットワークシステムの更新を行い、活用の推進と加入者の拡大を図る。	○新システムの更新に向け説明会等に参加し準備を進めたことで、予定通りにネットワークシステムの更新が行われた。	A	健康介護課 健康増進担当
		幸手保健所	○利根地域保健医療・地域医療構想協議会の開催	○利根地域保健医療・地域医療構想協議会の開催（H30/2/23、出席委員22人）	A	総務・地域保健推進担当
		加須保健所	○埼玉県在宅医療提供体制充実支援事業等を活用して、医療情報の共有による地域完結型医療の推進を支援する。	○在宅医療体制整備のための仕組みづくりや地域保健医療を支える人材育成のために研修会を開催 H29.10.13 専門職人材育成拠点研修 参加者38人	A	総務・地域保健推進担当

4 健康づくり対策

(目標)

健康と栄養・食生活について正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。
健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。
特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	平成29年度取組実績	評価	担当課名
市町(国民健康保険及び教育委員会を含む)保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	行田市	<ul style="list-style-type: none"> ○市内飲食店が提案したレシピを栄養に精通した大学に監修してもらい、健康レシピを開発する。 ○「空気の美味しいお店」認定事業の実施 ○健康教室・健康相談の充実 ○健幸案内所の開設 ○市民けんこう大学・大学院の実施 ○熱中症おたすけ隊を結成し、出張講座にて熱中症予防に関する知識の普及啓発活動を実施 ○禁煙外来治療助成事業の実施 ○健康づくりチャレンジポイント事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内飲食店が提案したレシピを栄養に精通した大学に監修してもらい、健康レシピを開発。(14店舗 16レシピを認定) ○「空気の美味しいお店」認定事業の実施。(11店舗を認定) ○健康づくりのための教室(6回 参加者数506人)、健康相談(9回 参加者数30人)の実施。 ○健幸案内所の開設。(5か所 健幸案内件数2549件) ○市民けんこう大学(参加述人数532人)・大学院(参加述人数335人)の実施。 ○熱中症おたすけ隊(25人)養成講座(6回 参加述人数132人)を実施し、出張講座にて熱中症予防に関する知識の普及啓発活動を実施。(12回 参加者数476人) ○禁煙外来治療助成事業の実施。(禁煙達成者数20人) ○健康づくりチャレンジポイント事業の実施。(申請者数650人) 	A	保健センター
		行田市	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診、保健指導の案内通知の工夫 ○特定健診未受診者、保健指導未利用者に対し、受診及び利用勧奨の実施 ○市内各団体を通じた特定健診受診の普及活動の実施、けんこうまつり等で特定健診のPRを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診の受診案内にがん検診の案内も掲載。受診勧奨ハガキは受診したことの有無から内容を変え送付した。 ○特定健診受診勧奨：ハガキ及び電話による受診勧奨の実施(ハガキ 2回、電話 延べ6534人) ○特定保健指導対象者で通知をしなくても連絡のなかった方に対し再通知を送付した。 ○保健協力会他市内団体の会合の際に特定健診のPRを実施した。(けんこうまつりは雨天のため中止) 	A	保険年金課
		加須市	<ul style="list-style-type: none"> ○健康教育・健康相談の実施 ○健康まつり等における普及啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣予防講座(健康教育)の実施(参加延人数7,655人) ○健康相談の実施(重点健康相談447人、総合健康相談565人) ○健康まつり等における普及啓発の実施(健康まつり参加者数6,134人) 	C	健康づくり推進課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診・特定保健指導の広報による啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診・特定保健指導の広報による啓発を実施 	A	国保年金課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病予防のための各種健康教育講座を開催 ○出前講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康教育講座参加者 293人 ○出前講座(健康長寿サポーター養成講座)参加者33人 ○健康チャレンジ事業の実施 	A	健康づくり推進課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者向け健康教育・健康相談を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者に対し健康教育・健康相談を実施。 	A	介護福祉課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ○各種健康教育・健康相談を実施する。 ○食育セミナー、健康づくり・食育推進大会等における普及・啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動教室や講座等の健康教育を実施した。また、保健師や栄養士等による健康相談を実施した。 ○食育セミナーや健康づくり・食育推進大会において、パネル展示を掲示し、健康に関する普及・啓発を行った。 	A	中央保健センター
		蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> ○市民健康講座を実施する。 ○各団体から依頼を受け、出向いて実施する出前健康相談、出前健康講話にて、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発を図る。 ○食生活改善推進員協議会活動を通じた、食生活の正しい知識の普及を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民健康講座実施数 <ul style="list-style-type: none"> 1回 24名(女子カアップ～骨盤&乳ケア～) 1回 27名(アートセラピーを取り入れた認知症予防教室) 2会場 延76名(血管げんき教室) ○出前健康相談実施数 25回 535名 ○出前健康講話実施数 29回 638名 ○食生活改善推進員協議会が、伝達講習会において生活習慣病予防の調理実習を実施 14回203名 	A	健康増進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	幸手市	<p>健康教育として以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病予防教室パート1糖尿病合併症編（医師講話） ○生活習慣病予防教室パート2腎臓病編（2回コース医師講話・栄養編） ○出前講座の実施 ○ヘルシークッキング教室 ○スイーツ教室 ○乳子宮癌検診受診者に健康講話を実施 ○めざせ！毎日10000歩運動教室（健康長寿埼玉モデル）の実施 ○健康マイレージの導入（1月から） ○健康長寿サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病予防教室 糖尿病合併編 延べ26人 腎臓病編 延べ43人 ○出前講座 8回 ○ヘルシークッキング教室 19人 ○ヘルシースweets教室 15人 ○乳子宮がん検診受診者に健康講話を実施 8回 延べ972人 ○めざせ！毎日10000歩運動教室 ウォーキング継続者数200人 ○健康マイレージ参加者 499人 ○健康長寿サポーター養成講座の実施 養成人数112人 	A	健康増進課
		白岡市	<ul style="list-style-type: none"> ○特定保健指導予備群のかたに、生活習慣の見直しをするきっかけづくりとして、運動教室の実施 ○窓口や特定健康診査結果説明会で健康づくりや生活習慣病予防のパンフレットを配布し、正しい知識の普及啓発を図る。 ○健康相談・栄養相談の実施 ○健康体操教室の実施 ○健康講座・健康教室の実施 ○出前講座の実施 ○健康まつりの実施 ○健康長寿サポーター養成講座の実施 ○健康マイレージの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定保健指導予備群のかたに、生活習慣の見直しをするきっかけづくりとして、運動教室を実施した。 ○窓口や特定健康診査結果説明会で健康づくりや生活習慣病予防のパンフレットを配布し、正しい知識の普及啓発を図った。 ○健康相談・栄養相談の実施（12回 120人） ○健康体操教室の実施（12回 349人） ○健康講座・健康教室の実施（6回 68人） ○出前講座の実施（1回 49人） ○健康まつりの実施（白岡まつりと共同開催 1回） ○健康長寿サポーター養成講座の実施（3回 36人） ○健康マイレージの実施（参加登録者 248人） 	A	保険年金課
		宮代町	<ul style="list-style-type: none"> ○健康教室を実施する（骨粗しょう症予防集団栄養指導、貯骨とエクサ！、貯骨とクッキング！、知っ得！けんこう講習、健康長寿サポーター養成講座、出前講座等） ○健康相談、栄養相談を実施する。 ○集団特定健診時に、健康に関する媒体を展示し、生活習慣に関する助言や個別相談を実施する。 ○埼玉県コバトン健康マイレージ事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康教育事業を21回、611名に実施。 ○栄養相談を17名に実施。 ○集団特定健診（7日間）で栄養ブースを設け、受診者に対し媒体を用いて生活習慣に関する助言や栄養相談（15名）を実施。 ○埼玉県コバトン健康マイレージ事業に1,236名が参加。 	A	健康介護課
		杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診受診者及び健康づくりに関心のある町民を対象に、生活習慣病のリスクを減らすことを目的として、医師及び歯科医師による医療講演会を実施し、正しい知識の普及啓発を図る。 ○健康への関心と検診の動機付けを目的に健康フェスタを開催する。 ○集団健康教育を実施する。 ○管理栄養士による生活習慣病予防のための健康教育および個別栄養相談を実施する。 ○食生活改善推進員協議会による生活習慣病予防のための料理教室を開催する。 ○健康長寿のまちづくりの推進役を育成するため「すぎと健康アカデミー」を開校する。 ○埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加し、町民の健康づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診受診者及び健康づくりに関心のある町民を対象に、生活習慣病のリスクを減らすことを目的として、医師及び歯科医師による医療講演会を実施し、正しい知識の普及啓発を図った。 ○健康への関心と検診の動機付けを目的に健康フェスタを開催した。 ○集団健康教育を実施 延74回 延参加者数 1,058人 ○管理栄養士による生活習慣病予防のための健康教育および個別栄養相談を実施した。 ○食生活改善推進員協議会による生活習慣病予防のための料理教室を開催した。 ○健康長寿のまちづくりの推進役を育成するため「すぎと健康アカデミー」を開校した。修了生 28人 ○埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加し、町民の健康づくりを支援した。歩数計参加人数 403人 スマートフォンアプリ参加人数 16人 ○健康長寿サポーター養成講座を実施した。2回 23人 ○がん検診サポーター養成講座を実施した。1回 20人 	A	健康支援課
		幸手保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○給食施設指導や健康長寿サポーター養成講座等を通じた健康づくりの普及啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○給食施設栄養管理研修会の実施（6/26 77人） ○健康長寿サポーター養成講座の実施（6/8 48人） 	A	保健予防推進担当
		加須保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○各種団体や給食施設等を通じて健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及を図る。 ○全面禁煙・空間分煙実施施設の拡充を図るとともに、受動喫煙の防止について普及啓発を行い、健康なまちづくりを推進する。 ○健康づくりを推進するため「健康長寿サポーター」養成講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○給食施設指導や各種団体の支援を通じて、生活習慣病予防に関する正しい知識の普及を図った。 ○特定健診受診勧奨記事を、JAほくさい6月号広報誌に掲載。 ○全面禁煙実施認証施設 新規認証2施設 ○健康長寿サポーター養成 2回75人 	A	保健予防推進担当

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進	加須市	○第2次加須市健康づくり推進計画に基づき、地区組織の代表者や関係団体等の幅広い参画を得ながら加須市健康づくり推進委員会を開催するとともに、平成28年度に実施した事業について、委員の皆様方から意見をいただきながら評価する。	○健康づくり推進委員会において、健康づくり推進計画に位置付けられた平成28年度の事業を評価し、90%が順調又は概ね順調と評価され、市民の健康づくりに寄与した。 ○「埼玉一の健康長寿のまち」推進部会の市民委員が参加する7つのワーキンググループを延べ28回開催し、市民が参加しやすい事業への工夫等について議論した。また、ワーキンググループごとに市民への啓発活動を実施した。	B	健康づくり推進課
		羽生市	○啓発用ポロシャツの着用、公用車へのマグネットの貼用、のぼり旗の設置 ○健康チャレンジ事業の実施	○羽生市健康づくり推進協議会を開催し、第2次羽生市健康づくり計画に基づいて実施した事業について、ご意見をいただき評価を行った。	A	健康づくり推進課
		久喜市	○久喜市健康増進・食育推進会議、庁内連絡会議、庁内連絡会議作業部会を開催し、関係機関との連携を図りながら、第2次久喜市健康増進・食育推進計画を推進します。	○久喜市健康増進・食育推進会議、庁内連絡会議、庁内連絡会議作業部会を開催し、関係機関との連携を図りながら、第2次久喜市健康増進・食育推進計画を推進した。	A	健康医療課
		蓮田市	○健康増進計画「健康はすだ21（第2次）」の推進を図るため健康づくり推進員を委嘱し、健康づくり推進員連絡会議を開催することによって、各関係機関の連携を図り、健康づくり活動を地域に広げるための環境づくりを進める。 ○健康増進計画「健康はすだ21（第2次）」の中間見直し、さらに新規で「蓮田市食育推進計画」策定のため、アンケート調査を実施し、現状・課題の把握を行う。	○「健康づくり推進員連絡会議」7回延べ159名、[新任者研修会]1回11名、[理事会]1回4名 ○健康はすだ21の「栄養・食生活」分野の推進を図るための「地域食生活支援推進連絡会」4回 延べ85名 ○連絡会議等で各関係機関の連携が図れた。 ○計画策定に関わる実態調査などについて、会議で検討し、意見を聴取することができた。	A	健康増進課
		幸手市	○健康日本21幸手計画（第2次）の推進を図るため、各関係機関の連携を図り、健康日本21幸手計画推進会議を開催し、各委員からの意見を反映しながら進行管理を行う。	○健康日本21幸手計画（第2次）推進会議を開催。（2回）	A	健康増進課
		白岡市	○白岡市健康増進計画及び白岡市食育推進計画の推進を図るため、各関係団体と連携し、はびすイッチ会議（健康づくりに関係する団体の代表者と公募市民で構成）を開催する。関係団体及び関係課が実施する活動や施策の進捗状況の確認や評価、会議委員からの意見を反映しながら進行管理を行う。	○はびすイッチ会議の開催（4回） ○健康づくりに関係する関係団体及び関係課が実施する活動や施策の進捗状況の確認や評価、会議委員からの意見を反映しながら進行管理を行った。	B	健康増進課
		幸手保健所	○地域の栄養関係団体の食育活動への情報提供等の実施 ○市町の健康増進計画・食育推進計画策定や推進に対する支援の実施	○管内地域活動栄養士の活動支援、情報提供の実施（7回 38人） ○市町健康増進計画・食育推進計画会議への参加（随時）	A	保健予防推進担当
		加須保健所	○ヘルシーメニューの企画・提案や禁煙支援を主体的に実施しようとする事業所等に対し、国・県における取組方策を情報提供し、他の民間団体等との連携を支援する。	○埼玉県健康づくり協力店 新規指定3店舗 ○埼玉県健康づくり協力店活動実態調査を実施し、栄養情報提供に関する食環境整備を行い民間企業との連携を深めた。68店舗 ○市健康増進計画推進会議、ワーキンググループ等に参加し支援を実施した。	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	行田市	○薬局を拠点とした健康づくり支援事業の実施（糖尿病予防検体測定事業・禁煙サポーター薬局設置事業）	○薬局を拠点とした健康づくり支援事業の実施【糖尿病予防検体測定事業（12か所 測定者数280人）・禁煙サポーター薬局設置事業（14か所 測定者数108人）】	A	保健センター
			○特定健診の受診勧奨、特定保健指導の利用勧奨の実施 ○人間ドック等の受検に対する費用の助成	○特定健診受診勧奨：ハガキ及び電話による受診勧奨の実施（ハガキ2回、電話 延べ6534人） 特定保健指導対象者で通知をしても連絡のなかった方に対し再通知を送付した。 ○人間ドック等の費用助成 延921名	A	保険年金課
		加須市	○特定健康診査の結果、特定保健指導の該当にならないものに対し、生活習慣病予防の講座を行っていく。	○特定健康診査の結果、特定保健指導の該当にならないものに対し、生活習慣病予防の講座を実施。	A	健康づくり推進課
		羽生市	○特定健康診査、特定保健指導の実施 ○特定健康診査の受診勧奨と特定保健指導対象者の指導勧奨 ○人間ドック等の助成（国保、後期高齢者医療加入者） ○後期高齢者の健康診査の実施	○特定健康診査（受診者：3,942人）、特定保健指導（実施者：97人）の実施 ○特定健康・保健指導受診勧奨の実施 ○人間ドック等の助成（国保：436人、後期：140人） ○後期高齢者の健康診査（受診者：2,741人）の実施	A	国保年金課
			○基本健康診査の実施により早期発見を行う。基本健康診査において、指導対象者へのアプローチを行う。 ○健康相談・栄養相談を実施	○基本健康診査（受診者：265人） ○指導対象者へ生活改善リーフレットを送付18名 ○健康相談・栄養相談参加者延48人	A	健康づくり推進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ○生活保護受給者等の健康診査を実施する。健診結果により、必要な者に保健指導を実施する。 ○がん検診を実施する。要精密検査者に対して、精密検査の受診勧奨を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○市内小学校4年生全児童を対象に小児生活習慣予防健診を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活保護受給者等の健康診査を実施した。（受診者数53人） ○胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、乳がん、子宮がん検診を実施した。（がん検診受診者数：41,223人）また、精密検査者に対して、受診勧奨を行った。 ○特定保健指導を実施した。 ○市内小学校4年生全児童を対象に小児生活習慣予防健診を実施した。 	A	中央保健センター
		蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> ○出前健康相談で健康チェックを実施する。 ○定例の健康相談を実施する。 ○特定健診、後期高齢者健診、健康増進法による健診を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○特定保健指導対象外で保健指導が必要な者に対しては、健康相談、健康講座等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○出前健康相談実施数 25回535名 ○健康相談実施数 8回48名 ○特定健診受診者数 4,633名（費用決済数） ○後期高齢者健診受診者数 2,604名（費用決済数） ○健康増進法による健診受診者数 2名 ○特定保健指導実施数 99名 ○特定保健指導対象外者への電話健康相談数 112件 	A	健康増進課
		白岡市	<ul style="list-style-type: none"> ○白岡市国民健康保険データヘルス計画に基づき、国民健康保険保健事業を実施する。また、今年度中に第2期の計画策定。 ○白岡市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施する。また、今年度中に第3期の計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○白岡市国民健康保険データヘルス計画に基づき、国民健康保険保健事業を実施し、第2期の計画を策定した。 ○白岡市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施し、第3期の計画を策定した。 	A	保険年金課
		宮代町	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校4年生及び中学校1年生を対象として、小児生活習慣病予防検診を実施 ○特定保健指導の実施 ○後期高齢者の健康診査の実施 ○生活保護受給者等の健康診査及び検診結果により保健指導の実施 ○特定健康診査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校4年生及び中学校1年生を対象として、小児生活習慣病予防検診を実施（小学校4年生410人、中学校1年生425人） ○特定保健指導94名（積極的：14人 動機づけ：80人）実施。 ○後期高齢者の健康診査を個別（6月～11月）と集団健診7日間にて実施。 ○生活保護受給者等に対して健康診査を3名実施。 ○特定健康診査を実施し、2,785人が受診した。（受診率42.8%） 	B	教育指導課
		杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健康診査の実施 ○特定保健指導の実施 ○生活保護受給者等の健康診査及び検診結果により保健指導の実施 ○特定健康診査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定保健指導4名（積極的：14人 動機づけ：80人）実施。 ○後期高齢者の健康診査を個別（6月～11月）と集団健診7日間にて実施。 ○生活保護受給者等に対して健康診査を3名実施。 ○特定健康診査を実施し、2,785人が受診した。（受診率42.8%） 	A	健康介護課 健康増進担当
		加須保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○保健指導担当者の資質向上を目的として研修会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国保健診（20歳～39歳）を実施した。 ○特定健診にe-GFR値の検査項目を導入し、慢性腎疾患対策を実施した。 ○特定健診受診者数：2,609人 受診率：29.2%（H30.4月集計分まで） ○40～74歳までの特定保健指導対象者に結果相談会を実施した。 ○特定保健指導（初回面接）実施者数：145人 ○健康相談の実施（電話相談を含む）随時開催 延 132人 ○健康教育の実施 延74回 延参加者数 1,058人 	A	住民課 国保年金担当
		加須市	<ul style="list-style-type: none"> ○親と子の食育事業（学童のための栄養学習）の実施 ○食改推進員による小学生・中学生向け料理教室の実施 ○小学校及び他団体等への出前講座の実施 ○食に関する正しい知識と望ましい食習慣についての指導 ○自然への恩恵や勤労への感謝や食文化についての指導 ○栄養教諭等の専門性を生かした指導 ○学校給食を通じた食に関する指導 ○親子を対象とした料理教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○国保健診（20歳～39歳）を実施した。 ○特定健診にe-GFR値の検査項目を導入し、慢性腎疾患対策を実施した。 ○特定健診受診者数：2,609人 受診率：29.2%（H30.4月集計分まで） ○40～74歳までの特定保健指導対象者に結果相談会を実施した。 ○特定保健指導（初回面接）実施者数：145人 ○健康相談の実施（電話相談を含む）随時開催 延 132人 ○健康教育の実施 延74回 延参加者数 1,058人 	A	健康づくり推進課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> ○親と子の食育事業（学童のための栄養学習）の実施 ○食改推進員による小学生・中学生向け料理教室の実施 ○小学校及び他団体等への出前講座の実施 ○食に関する正しい知識と望ましい食習慣についての指導 ○自然への恩恵や勤労への感謝や食文化についての指導 ○栄養教諭等の専門性を生かした指導 ○学校給食を通じた食に関する指導 ○親子を対象とした料理教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校食育研究校（北川辺西小学校）の取組や成果を市内各校に広めた。 ○栄養教諭と連携した授業を実施し、栄養バランスを考えて食べる大切さと給食のよさについて指導した。 ○親子おやつ作り教室13人、親子でお魚クッキング18人 	B	学校教育課
久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食の予定献立表や給食だよりの配布を通じて、正しい食生活の知識の普及・啓発を行う。 ○地元産農産物を積極的に使用するとともに、行事食、郷土料理、伝統料理などを採り入れた献立を実施し、給食を通して食べ物や生産者に対して感謝する心を育むとともに、地域の食材や地域性などへの理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全小・中学校において栄養教諭による授業を実施（14校） ○全小・中学校において給食センター職員による学校訪問を実施（14校） ○全小学校において給食時放送による意識向上の実施（14校） 	A	学務課		

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	地域、学校等における食育の推進	幸手市	○市内小学校に小児生活習慣病予防のための食育講話を実施	○市内小学校に小児生活習慣病予防のための食育講話を実施(7校実施、450人参加)	A	健康増進課
		白岡市	○彩の国ふるさと学校給食月間の実施 ○栄養教諭及び栄養職員による食育の授業実施	○彩の国ふるさと学校給食月間の実施(小学校6校、中学校4校) ○栄養教諭及び栄養職員による食育の授業実施(小学校6校、中学校4校)	B	教育指導課
		宮代町	○親子料理教室の実施	食育に関する講話及び調理実習を親子12組に実施。	A	健康介護課 健康増進担当
			○栄養教諭による食育の授業実施	○栄養教諭による食育の授業を年1回、各学校で各クラスごとに実施した。	A	教育推進課
		杉戸町	○関係課と連携し、杉戸町食育担当者会議を開催する。 ○一般住民を対象とした食育講演会を実施する。 ○小学校就学時健診において、保護者を対象に食育講話を実施する。	○関係課と連携し、杉戸町食育担当者会議を開催した。 ○一般住民を対象とした食育講演会を実施した。 ○町内の小学校へ「早寝早起き朝ごはん」をテーマに講話を実施した。 ○町内6校の小学校就学時健診において、保護者を対象に食育講話を実施した。参加者数 319人	A	健康支援課
		幸手保健所	○地域の栄養関係団体の食育活動への情報提供等の実施 ○給食施設指導を通じた各施設における食育の推進状況の把握 ○市町の食育推進計画策定や推進に対する支援の実施	○管内地域活動栄養士会の活動支援、情報提供の実施(7回 38人) ○給食施設指導の実施(276施設)、給食施設栄養管理研修会の実施(6/26 77人) ○市町健康増進計画・食育推進計画会議への参加(随時)	A	保健予防 推進担当
加須保健所	○管内各市の食育推進計画推進を支援する。 ○健康づくり協力店を活用した外食の栄養成分表示の普及を図る。 ○高齢者の低栄養の予防等について、各市と連携し食環境の向上を図る。 ○小・中学校等の栄養教諭、養護教諭等とのネットワークづくりを進め、学校保健と連携した食育の推進を図る。	○各市健康づくり推進委員会等へ参画し各種計画の推進支援 ○埼玉県健康づくり協力店 新規指定 3店舗 ○高齢者の食支援研修会の開催。H30.2.14 29人参加 ○学校給食運営委員会等の参画を通じ、栄養教諭等とのネットワークづくりを進めた。 ○食生活改善推進員の活動支援(リーダー研修会開催、総会等) ○地域活動栄養士会の活動支援	A	保健予防 推進担当		

5 親と子の保健対策

(目標)

親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会をめざします。
生後なるべく早い時期に乳児のいる家庭の状況を把握することにより、乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎます。
また、乳幼児健康診査のさらなる充実で、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。
関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	平成29年度取組実績	評価	担当課名
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	生後4か月ぐらまでの乳児の状況把握と育児支援	行田市	○妊娠届によって把握されたすべての妊婦に対して、子育て包括支援センターによる必要な情報の提供や心配事の相談を行い、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を実施する。また、ハイリスク者については、支援プランを作成し、安心安全な出産育児に向けた継続支援を実施する。 ○子育て包括支援センターによる相談、乳児産婦訪問指導、赤ちゃんクラスなどの事業を継続して実施する。 ○支援の必要なケースについては、地区担当保健師による個別対応を実施する。	○子育て包括支援センターの赤ちゃんコンシェルジュ(助産師)が妊娠届によって把握されたすべての妊婦等に対して情報提供や相談を行い、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を実施した。特に、ハイリスク者については、支援プランを作成し、安心安全な出産育児に向けた継続支援を実施した。(支援プラン作成 29件) ○子育て包括支援センターによる相談(相談件数 878件)、乳児産婦等訪問指導(訪問件数 391件)、赤ちゃんクラス(12回 388人)などの事業を継続して実施した。また、支援の必要なケースについては、地区担当保健師による個別対応を実施した。	A	保健センター
		加須市	○生後4か月児までの児を対象とした全戸訪問事業(乳児家庭訪問事業)を実施し、必要な支援やサービスを提供ができるようにする。 ○訪問した母子のケースには虐待予防のアンケートを3つ(育児チェックシート、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんの気持ち質問票)実施し、母の精神面の把握に努める。 ○育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施する。	乳児家庭訪問を651件実施。 継続支援が必要なケースについては、訪問や電話、母子保健事業につなげフォローを行った。	B	健康づくり 推進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	生後4か月ぐら いまでの乳児の 状況把握と育児 支援	羽生市	○乳児家庭全戸訪問事業を実施し、養育環境や母親の精神面の把握、乳児の発育発達の確認を行う。 ○育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施する。 ○3か月児健診を実施し、その後必要なケースには継続した支援を行う。	○乳児家庭全戸訪問事業 訪問数359人 (96.3%) ○訪問時、乳児相談等で子育ての情報提供の実施 ○3か月児健診受診者367人 (97.6%) ○継続支援者	A	健康づくり 推進課
		久喜市	○乳幼児家庭全戸訪問指導事業の実施	対象家庭数1,018 家庭訪問数964 実施率94.7%	A	中央保健 センター
		蓮田市	○こんには赤ちゃん訪問において、生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談を行う。 ○3～4か月児健診の未受診者に対し、地区担当保健師や母子保健推進員が訪問・電話連絡等を行い虐待や育児不安を早期発見できるように努める。 ○産後うつ病アンケートにより把握したハイリスクの母に対して、継続して支援を行う。	○こんには赤ちゃん訪問（延465名に実施）において、生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談を行った。 ○3～4か月児健診の未受診者に対し、地区担当保健師や母子保健推進員が訪問・電話連絡等を行い虐待や育児不安を早期発見できるように努めた。 ○産後うつ病アンケートにより把握したハイリスクの母に対して、継続して支援を行った。	A	子ども支援課
		幸手市	○乳児家庭全戸訪問事業の実施 ○訪問時の質問紙を活用し、虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。 ○産後ケア事業の実施 ○子育て総合窓口における早期からの専門的相談・支援	○乳児家庭全戸訪問事業の実施。244件 ○訪問時の質問紙を活用し、虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努めた。 ○産後ケア事業の実施。訪問看護型5人、訪問ヘルプ型1人 ○子育て総合窓口における早期からの専門的相談・支援。延べ1,859件	A	健康増進課
		白岡市	○こんには赤ちゃん訪問事業により、保健師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児支援を行う。また、必要時産後うつ病アンケートにより、母の精神面の把握に努め、育児不安や悩みに対する継続した支援を行う。 ○4か月児健診において、状況を把握し育児支援を行う。また、未受診児の状況把握に努める。 ○状況に応じた保健指導や子育てに関する情報提供を行い、必要なサービスにつなげる。	○こんには赤ちゃん訪問事業により、保健師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児支援を行った。また、必要時産後うつ病アンケートにより、母の精神面の把握に努め、育児不安や悩みに対する継続した支援を行った。（事業対象訪問数406件） ○4か月児健診において、状況を把握し育児支援を行う。また、未受診児の状況把握に努めた。（受診者数395人 未受診率0.3%）	B	健康増進課
		宮代町	○こんには赤ちゃん訪問事業により、生後4か月未満がすべての家庭に訪問を実施し、保健指導を実施。アンケート等を活用し、虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。今年度から全産婦に対しEPDSを実施し、産後うつ病の早期発見に努める。	○赤ちゃん訪問実施（240人、面接4人） ○産婦にEPDS実施（244人） ○2ヶ月に1回ケース対応会議の開催（6回実施）	A	健康介護課
		杉戸町	○こんには赤ちゃん訪問事業により、看護師、保健師が生後4か月までの乳児と産婦への保健指導を実施する。 ○「すくすく子育てアンケート」（産後のメンタルヘルス質問紙）を活用し虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるよう努める。さらに訪問で把握した情報を3～4か月児健診へつなげ継続した支援を実施する。 ○3～4か月健診未受診児の状況把握に努める。必要により子育て支援課と連携を図る。	○こんには赤ちゃん訪問事業により、看護師、保健師が生後4か月までの乳児と産婦への保健指導を実施。延217件 ○「すくすく子育てアンケート」（産後のメンタルヘルス質問紙）EPDSを活用し虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるよう努めた。さらに訪問で把握した情報を健康相談、3～4か月児健診へつなげ継続した支援を実施した。 ○3～4か月健診未受診児の状況把握に努めた。必要により子育て支援課と連携を図った。	A	健康支援課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	育児支援に重点 をおいた乳幼児 健康診査の充実	加須市	○乳幼児期の疾患や発育異常等を早期発見し、親の育児や生活習慣病等に対する相談支援を行う。 ○未受診者の状況把握において、引き続き訪問や電話等で確認支援していく。 ○3歳児健診の検尿をスルホサリチル酸法で行う。	○乳幼児健診（174回、受診率93.0%） ○乳幼児期の疾患や発育異常等を早期発見し、親の育児や生活習慣病等に対する相談支援を行う。 ○未受診者156人の欠席理由を把握し、訪問や電話等で確認支援を行う。	B	健康づくり推進課
		羽生市	○乳幼児健康診査の間診等により育児不安や発育発達の状況把握を行い、専門的な相談支援を実施する。	○乳児家庭全戸訪問事業 訪問数359人 (96.3%) ○訪問時、乳児相談等で子育ての情報提供の実施 ○3か月児健診受診者367人 (97.6%) ○継続支援者	A	健康づくり 推進課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の充実	久喜市	○育児環境や家庭の健康状態、育児負担等に着目した問診、相談を実施するとともに、必要に応じ継続した支援に結びつける。	4か月児健診 対象者975人 受診者947人 受診率97.1% 10か月児健診 対象者990人 受診者939人 受診率94.8% 1歳6か月児健診 対象者1,074人 受診者1,033人 受診率96.2% 3歳児健診 対象者1,131人 受診者1,095人 受診率96.8%	A	中央保健センター
		蓮田市	○健診問診スタッフが事前に要フォロー児の情報を共有し、継続支援が実施できるようにする。 ○図書館職員と協力し3～4か月児健診においてブックスタート事業を行う。 ○1歳6か月児健診時に、食生活改善推進員協議会の協力を得て手作りおやつを試食提供をし、それをきっかけに子どもの食生活に関する支援を行う。 ○1歳6か月児健診と3歳児健診において心理相談を実施し、心理士・児童ケースワーカー・家庭児童相談員・保健師による多職種でフォロー体制を組む。 ○健診終了後多職種によるカンファレンスの実施をし、多角的な視点で検討していく。	○健診問診スタッフが事前に要フォロー児の情報を共有し、継続支援が実施できるように努めた。 ○市の図書館職員と協力し3～4か月児健診においてブックスタート事業を実施。（年12回430名実施） ○1歳6か月児健診時に、食生活改善推進員協議会の協力を得て手作りおやつを試食と子どもの食生活に関する支援を行った。（年12回392名実施） ○1歳6か月児健診と3歳児健診において心理相談を実施し、心理士・児童ケースワーカー・家庭児童相談員・保健師による多職種がフォロー体制を組んでいる。（心理相談延101名実施） ○各健診・事業終了後多職種によるカンファレンスの実施	A	子ども支援課
		幸手市	○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施 ○10か月児健診で保健師による集団保健指導を実施 ○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施 ○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施 ○各健診終了後、他職種スタッフによるカンファレンスを実施し、継続フォローの方針を検討 ○未受診児訪問の実施 ○乳幼児発達相談の実施 ○4ヶ月健診、1歳6か月健診、3歳5か月健診の案内に健やか親子21アンケートを同封し、必要な方に2次質問を実施	○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施（各12回、延べ1,065人） ○10か月児健診で保健師による集団保健指導を実施（12回、241人） ○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施（各12回、延べ60人） ○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施（12回、延べ26人） ○各健診終了前後に、カンファレンスを実施。経過を踏まえた相談ができるよう配慮し、健診終了後は継続フォローの方針を検討（各12回、延べ447人） ○未受診児訪問の実施（延べ76人） ○発育発達に経過観察を要する児には多種専門職の指導助言を受けられる乳幼児発達相談につなげた ○4ヶ月健診、1歳6か月健診、3歳5か月健診の案内に健やか親子21アンケートを同封し、必要な方に2次質問を実施した。	A	健康増進課
		白岡市	○各健診において、保健師が全ての受診者と個別面接・相談を実施し育児支援を行う。 ○4か月児健診において、離乳食開始に向けた教室を開催 ○10か月児健診において、ボランティアによる読み聞かせを実施 ○1歳6か月児健診、3歳児健診において、臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施 ○健診終了後に多職種によるカンファレンスを実施し、健診時の情報共有を行い、継続フォローの方針を検討する。また、未受診者の状況を把握する。	○各健診において、保健師が全ての受診者と個別面接・相談を実施し育児支援を行った。（各健診12回） ○4か月児健診において、離乳食開始に向けた教室を開催した。 ○10か月児健診において、ボランティアによる読み聞かせを実施（119人） ○1歳6か月児健診、3歳児健診において、臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施（58人） ○健診終了後に多職種によるカンファレンスを実施し、健診時の情報共有を行い、継続フォローの方針を検討した。また、未受診者の状況を把握を行った。（健診未受診率 4か月児 0.9%、10か月児0.5%、1歳6か月児3.4%、3歳児3.9%）	B	健康増進課
		宮代町	○各乳幼児健診におけるグループ支援と個別支援の充実 ○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士を配置し個別相談を実施 ○健診後、多職種によるカンファレンスの実施	○各乳幼児健診において第一子の母にはグループ（506人）と個別で育児支援、第二子以降の母には、個別で育児支援を実施。 ○1歳6か月児健診、3歳児健診で希望者に臨床心理士の個別相談を実施（27人） ○健診後はカンファレンスを実施（48回）	A	健康介護課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の充実	杉戸町	<p>○各健診とも受診者全員と個別面接を実施する。</p> <p>○3か月健診にファミリーサポートセンター職員によるサービスの利用勧奨を行う。</p> <p>○3か月健診で、赤ちゃんと保護者の方が一緒に絵本を楽しむひとときを持ってもらおうといった子育て支援の取組として町立図書館から絵本を手渡しするブックスタートの場の提供。</p> <p>○9か月健診時に子育て支援センター職員によるサービスの利用勧奨を行う。</p> <p>○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士の個別指導を実施する。</p> <p>○3歳児健診時にボランティアの絵本読み聞かせコーナーを設定し、親子で絵本に親しみコミュニケーションを深める支援を実施する。</p> <p>○地域における支援が必要な母子については、健診時に希望をとり、子育て支援センターへ個別連携シートを送付して訪問・電話・面接等の支援を依頼する。</p> <p>○健診の未受診者について、保健師間で定期的カンファレンスを実施、今後の方向性について協議・情報の共有を図る。</p> <p>○私立・町立保育園に訪問、未受診者の状況や集団での発達状況を把握する。</p>	<p>○各健診とも受診者全員と個別面接を実施した。</p> <p>○3か月健診にファミリーサポートセンター職員によるサービスの利用勧奨をした。</p> <p>○3か月健診で、赤ちゃんと保護者の方が一緒に絵本を楽しむひとときを持ってもらおうといった子育て支援の取組として町立図書館から絵本を手渡しするブックスタートの場を提供した。</p> <p>○9か月健診時に子育て支援センター職員によるサービスの利用勧奨を実施した。</p> <p>○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士の個別指導を実施。</p> <p>○3歳児健診時にボランティアの絵本読み聞かせコーナーを設定し、親子で絵本に親しみコミュニケーションを深める支援を実施。</p> <p>○健診の未受診者については電話、家庭訪問等で受診勧奨。保健師間でカンファレンスを実施、今後の方向性について協議・情報の共有を図った。</p> <p>○子育て支援課及び私立・町立保育園に通園状況について確認、未受診者の状況や集団での発達状況を把握した。</p>	A	健康支援課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	子どもの心の健康に関する相談や情報提供の充実	加須市	<p>○子どもの心の健康に関する相談や情報提供を行う。</p> <p>○乳幼児健診や乳幼児健康相談において、発育・発達の確認と子育てに関する指導・助言を実施し、必要な方には、訪問や電話にて相談や情報提供を実施する。</p>	<p>○平成30年度より「すくすく子育て相談室」を開設し、相談や情報提供を行う。</p> <p>○乳幼児健康相談や乳幼児訪問等により、育児や発育・発達に関する相談を行い、子育て家庭の育児不安の軽減を図る。</p> <p>○訪問（延べ705件）面接（延べ50件）電話（延べ408件）</p> <p>○乳幼児健康相談（47回、延べ663人）</p> <p>○Happyママくらぶ（産後をサポートする教室）（12回、延べ177人）</p>	B	健康づくり推進課
		羽生市	<p>○乳幼児健診や訪問・相談事業等において、子供の心の健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行う。</p>	<p>○関係機関と連携し支援を行った</p>	A	健康づくり推進課
		久喜市	<p>○乳幼児健診や訪問、相談事業等において、子どもの心の健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行う。</p>	<p>○乳幼児健診や訪問、相談事業等において、子どもの心の健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行った。</p>	A	中央保健センター
		蓮田市	<p>○18歳未満の子どもの心の問題に対して、関係機関と連携をとり支援する。</p> <p>○保健所で実施する心に関する事業の情報提供</p> <p>○各種乳幼児健診や乳幼児相談において、個別相談を実施</p> <p>○1歳6か月児健診・3歳児健診時に心理相談を開催</p>	<p>○18歳未満の子どもの心の問題に対して、関係機関と連携をとり支援した。</p> <p>○保健所で実施する心に関する事業の情報提供</p> <p>○各種乳幼児健診や乳幼児相談において、個別相談を実施</p>	A	子ども支援課
		幸手市	<p>○臨床心理士による相談を実施</p> <p>○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施</p> <p>○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施</p> <p>○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施</p> <p>○子育て総合窓口における専門的随時相談</p>	<p>○臨床心理士による相談を実施（12回延べ34人）</p> <p>○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施（各12回延べ1,065人）</p> <p>○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施（各12回60人）</p> <p>○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施（12回26人）</p> <p>○子育て総合窓口における専門的随時相談（延べ1,859件）</p>	A	健康増進課
		白岡市	<p>○健診や相談事業等において、保健師による個別相談のほか必要時臨床心理士による心理相談の実施</p> <p>○状況に応じて保護者に療育支援先の情報提供を行い関係機関と連携する。</p>	<p>○健診や相談事業等において、保健師による個別相談のほか必要時臨床心理士による心理相談の実施（フォロー相談 31回106人）</p> <p>○状況に応じて保護者に療育支援先の情報提供を行い関係機関と連携した。</p>	B	健康増進課
			<p>○当課及び関係機関で実施している教育相談に係る情報を通知やHPで提供</p> <p>○学校へ相談員を配置</p>	<p>○当課及び関係機関で実施している教育相談に係る情報を通知やHPで提供（市公式HPに掲載、翌年度新就学児へリーフレットを配布）</p> <p>○学校へ相談員を配置（小学校6校、中学校4校）</p>	B	教育指導課

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	子どもの心の健康に関する相談や情報提供の充実	宮代町	○臨床心理士による心理相談の実施 ○各乳幼児健診や健康相談等において、個別相談を実施	○臨床心理士による心理相談の実施（49回延93人） ○各乳幼児健診における個別相談256人、健康相談における個別相談延923人実施	A	健康介護課
		杉戸町	○発達の遅れや偏り、生活上の支障が生じている親と子の相談として、臨床心理士による子育て相談を実施する。 ○乳幼児健診等において、必要があるケース、希望のあるケースについては臨床心理士の個別相談を実施する。（再掲） ○発達支援事業：ラッコ教室（1歳6か月健診のフォロー・一般）において、臨床心理士による子育てについての講話を実施、保護者の育児不安等の軽減を図る。	○発達の遅れや偏り、生活上の支障が生じている親と子の相談として、臨床心理士による子育て相談を実施した。 ○乳幼児健診等において、必要があるケース、希望のあるケースについては臨床心理士の個別相談を実施した。（再掲） ○発達支援事業：ラッコ教室（1歳6か月健診のフォロー・一般）において、臨床心理士による子育てについての講話を実施、保護者の育児不安等の軽減を図った。	A	健康支援課
		幸手保健所	○子どもの心の健康相談事業（相談・会議・研修）による情報提供の実施	○子どもの心の健康相談の実施（17回、相談者：実16人延29人） ○小児精神保健医療推進連絡会議・研修会の実施（10/12 57人）	A	保険予防推進担当
		加須保健所	○子どもの心の健康相談の実施と、ネットワーク事業における会議研修等により連携強化と資質向上を図る。	○専門相談、医師9回、心理士3回 実人員12人 延人員19人 子どもの心の問題に関する研修会 H29.7.28 参加者19人、H29.8.2 参加者20人	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	関係機関の連携強化による子育て支援	行田市	○子育て包括支援センターとして、市内及び隣接した産婦人科と連携を図り、切れ目のない支援をつなげる。 ○要保護児童対策地域協議会へケースの提供及び同会議に出席し、関係機関との連携と支援を行う。 ○ハイリスクケースに対しては引き続き、児童福祉担当、生活保護担当、児童相談所、民生委員、医療機関など必要に応じた機関と連携し支援を行う。	○加須保健所主催の妊娠期から虐待予防等連絡会議に参加し、管内産院との連携が図られた。 ○要保護児童対策地域協議会へ出席し、関係機関と連携し、支援を継続的に実施した。	A	保健センター
		加須市	○市内小児科専門医の協力を得て、4月から10月の祝日及び11月から3月の日曜日、祝日、年末年始における小児科診療を実施する。 ○虐待ケースについて、関係機関で実施する児童虐待ケース会議に参加し、対応する。 ○児童虐待防止等ネットワーク実務者会議へ参加し、各機関との連携を図る。 ○保健センター内の育児掲示板の活用をし、子育て情報の提供をする。	○市内小児科専門医の協力を得て、4月から10月の祝日と11月から3月の日曜日、祝日、年末年始（1月1日を除く）における小児科診療を実施した。（実施日39日） ○加須市児童虐待防止ネットワーク会議に参加（年12回） ○児童虐待ケース会議を実施し関係機関と情報共有・協議（随時） ○保健センター内の育児掲示板に子育て情報を発信	A	医療体制推進課
		久喜市	○要保護児童対策地域協議会への参加・活用 ○ハイリスク家庭に対し、児童福祉部門や保健所、医療機関等の関係機関と連携し、支援を行う。	○要保護児童対策地域協議会に参加・活用した。 ○ハイリスク家庭に対し、児童福祉部門や保健所、医療機関等の関係機関と連携し、支援を行った。	A	中央保健センター
		蓮田市	○支援が必要な母子に対し、保健所や他職種との同行訪問を実施し、必要時ケース会議を開催し情報共有と支援の連携を図る。 ○要保護児童対策地域協議会（代表者会議及び実務者会議）を開催 ○就学支援委員会に出席 ○蓮田市母子愛育会との連携と支援	○支援が必要な母子に対し、保健所や他職種との同行訪問を実施し、必要時ケース会議を開催し情報共有と支援の連携を図る。 ○要保護児童対策地域協議会（代表者会議及び実務者会議）を開催 ○就学支援委員会に出席 ○蓮田市母子愛育会との連携と支援	A	子ども支援課
		幸手市	○要保護児童対策地域協議会との連携 ○幸手市母子愛育会との連携 ○就学支援委員会に参加 ○妊娠期から子育て支援が行われるよう、子育て総合窓口を委託している幸手地区助産師会が市内医療機関等関係機関や関係団体によびかけ、研修会を実施 ○子育て支援課主催の幼児学級への保健師の参加と情報共有	○要保護児童対策協議会の開催（代表者会議1回、実務者会議12回、個別ケース会議8回） ○幸手市母子愛育会事業の実施（9回） ○就学支援委員会に参加（3回） ○妊娠期から子育て支援が行われるよう、子育て総合窓口を委託している幸手地区助産師会が市内医療機関等関係機関や関係団体によびかけ、研修会を実施（1回） ○子育て支援課主催の幼児学級への保健師の参加と情報共有（20回）	A	健康増進課
		白岡市	○母子愛育会との連携と支援 ○小中学校就学支援委員会に参加 ○要保護児童対策地域協議会に参加 ○就学支援にむけた情報交換会の実施 ○小中学校就学支援委員会を実施し、関係者を委員に委嘱 ○要保護児童対策地域協議会に参加 ○就学相談での情報の共有化	○母子愛育会との連携と支援（幼児教室への協力等） ○小中学校就学支援委員会に参加（4回） ○要保護児童対策地域協議会に参加（4回） ○就学支援にむけた情報交換会の実施（2回） ○小中学校就学支援委員会を実施し、関係者を委員に委嘱（4回実施） ○要保護児童対策地域協議会に参加（4回） ○就学相談での情報の共有化	B	健康増進課
						B

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	関係機関の連携強化による子育て支援	宮代町	○子育て未来室・応援室との連携強化 ○要保護児童対策協議会に出席 ○教育委員会の就学相談への連携、就学支援委員会に参加 ○「障害のあるお子さんの情報交換会」に就学相談担当者の出席依頼をする。	○子育て未来室・応援室と2か月に1回ケース対応会議の開催、子育て世代包括支援センター設置に向け打ち合わせを実施 ○要保護児童対策地域連絡協議会に参加（代表者会議、実務者会議3回、個別ケース会議1回） ○就学支援委員会に参加（3回） ○障害のあるお子さんの情報交換会に就学相談担当者の出席依頼	A	健康介護課
		杉戸町	○杉戸町母子愛育会との連携強化を図る。 ○子育て支援センターとの共同事業を活用し連携を強化するとともに、個別支援の方向性の共有を図る。 ○養育支援を必要とする家庭について要保護児童対策地域協議会との連携を図り必要な支援を実施する。 ○未熟児のフォローについては、未熟児養育医療費申請時の面接、子育て支援課及び医療機関との連携を図り、入院中からハイリスク児や養育支援家庭等への支援を実施する。 ○私立・町立保育園について、保健師が保育園を訪問して園児の様子を把握、発達状況、家庭環境等の情報の共有化を図る。 ○教育委員会 ・乳幼児健全発達支援相談指導事業の言語相談、心理相談で実施した発達検査等を保護者の同意のもと、就学にむけて情報提供。 ・各種教育相談窓口、就学相談等の情報提供	○杉戸町母子愛育会との連携強化を図った。 ○子育て支援センターとの共同事業を活用し連携を強化するとともに、個別支援の方向性の共有を図った。 ○養育支援を必要とする家庭について要保護児童対策地域協議会との連携を図り必要な支援を実施した。 ○未熟児のフォローについては、未熟児養育医療費申請時の面接、子育て支援課及び医療機関との連携を図り、入院中からハイリスク児や養育支援家庭等への支援を実施した。 ○私立・町立保育園について、保健師が保育園を訪問して園児の様子を把握、発達状況、家庭環境等の情報の共有化を図った。 ○教育委員会 ・乳幼児健全発達支援相談指導事業の言語相談、心理相談で実施した発達検査等を保護者の同意のもと、就学にむけて情報提供 ・各種教育相談窓口、就学相談等の情報提供	A	健康支援課
		幸手保健所	○母子保健連携調整会議、小児精神保健医療推進連絡会議、小児精神保健医療研修会、母子保健関連の研修会(事例検討会を含む)等の実施 ○要保護児童対策地域協議会への出席	○母子保健連携調整会議の実施(6/1、2/5) 小児精神保健医療推進連絡会議・研修会の実施(10/12 57人) ふれあい親子支援事業研修会の実施(10/23 27人) ○要保護児童対策地域協議会への出席(延30回、事例検討会議延10回)	A	保健予防推進担当
		加須保健所	○妊娠期からの虐待予防強化事業による医療機関と保健センター等の連携強化を図る。	○妊娠期からの虐待予防強化事業事例検討会・精神保健相談研修会開催 3回 参加者計30人	A	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	行田市	○市報、ホームページの掲載の工夫を行う。 ○乳児産婦全戸訪問事業において「子どもの救急ミニガイドブックを配布し、啓発を行う。	○市報、ホームページの掲載の工夫。 ○乳児産婦全戸訪問事業において「子どもの救急ミニガイドブックを配布し、啓発を実施。	A	保健センター
		加須市	○小児科医による救急講座・子育て相談を開催し、受診が必要な症状等について啓発する。 ○広報紙やホームページへの掲載、チラシの配布などによって啓発する。	○市内の小児科専門医を講師に招いて、市内4地域で子どもの救急講座・子育て相談を開催し、子育て中の保護者等がもしもの時の対応について学習した。(4回開催、参加者333人) ○市内の小児医療に関するチラシを作成し、市民への周知を図った。	A	医療体制推進課
			○乳児家庭訪問事業や乳幼児健診等の保健事業の中で、かかりつけ医や急病時の知識の普及に努める。(チラシ配布)	○乳幼児家庭訪問事業では、予防接種の説明および接種機関の確認を行う。乳幼児健診では、問診項目にかかりつけ医の欄を設け、いない場合はかかりつけ医の必要性について説明し、必要に応じて参考になる配付物を適宜渡した。	A	健康づくり推進課
		羽生市	○広報やホームページによる休日当番医、埼玉県小児救急電話相談、埼玉県大人の救急電話相談等の情報提供の実施	○市広報やホームページでの休日当番医、埼玉県小児救急電話相談、埼玉県大人の救急電話相談等の情報提供 ○埼玉県救急電話相談の情報を掲載したポケットティッシュ配布 ○乳幼児健診での「子どもの救急ミニガイドブック」の配布 ○小児科医による小児救急に関する講話	A	健康づくり推進課
		久喜市	○子ども医療費及びひとり親家庭等医療費の受給資格証に、平日の診療時間内での受診を促す文章を表記する。	○子ども医療費及びひとり親家庭等医療費の受給資格証に、平日の診療時間内での受診を促す文章を表記した。	A	子育て支援課
			○市報・市ホームページ等による情報提供を実施する。	○市広報紙・ホームページを活用して、昨年10月からスタートした#7119の利用について周知を図った。	A	健康医療課
蓮田市	○母子健康手帳交付時に「子どものミニ救急ガイドブック」の配布 ○健康カレンダーや子育てガイドブックに小児救急電話番号、#8000、救急医療情報、休日急患診療等の情報を掲載 ○乳幼児健診で、事故防止パンフレットの配布	○母子健康手帳交付時に「子どものミニ救急ガイドブック」を説明して428名に配布し、早期知識の普及に努めた。 ○健康カレンダーや子育てガイドブックに小児救急電話番号、#8000、救急医療情報、休日急患診療等の情報を掲載 ○乳幼児健診で、事故防止パンフレットを429名に配布	A	子ども支援課		

市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	幸手市	<p>○広報紙、ホームページ、健康環境カレンダーにより情報提供を図る。</p> <p>○乳幼児家庭全戸訪問事業における訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」を配布</p> <p>○パパママ教室同窓会、10か月児健診、母子健康教育（集まれ6〜7か月ベビー）時に、事故防止と上手なお医者さんのかかり方について指導を行う。</p>	<p>○広報紙、ホームページ、健康環境カレンダーにより情報提供を図った</p> <p>○乳幼児家庭全戸訪問事業における訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」を配布（244人）</p> <p>○パパママ教室同窓会（8回、延べ81人）、10か月児健診、母子健康教育（集まれ6〜7か月ベビー）時（6回、116人）に、事故防止と上手なお医者さんのかかり方について指導を行った</p> <p>○乳幼児家庭全戸訪問事業（244人）と乳児健診時に救急電話相談等のリーフレットを配布（延べ478人）</p>	A	健康増進課
		白岡市	<p>○広報紙、ホームページ、保健センター事業等予定表に急な病気やけがで困ったときの相談窓口等の情報提供</p> <p>○母親学級同窓会において子どもの急な病気についての講話の実施や、赤ちゃん訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」等を配布し、適正受診についての啓発</p>	<p>○広報紙、ホームページ、保健センター事業等予定表に急な病気やけがで困ったときの相談窓口等の情報提供を行った。</p> <p>○母親学級同窓会において子どもの急な病気についての講話の実施や、赤ちゃん訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」等を配布し、適正受診についての啓発した。（母親学級同窓会4回 36人、赤ちゃん訪問等428件）</p> <p>○小児救急医療啓発事業として、市内幼稚園において医師による講演会を実施した。（1回 113人）</p>	B	健康増進課
		宮代町	<p>○赤ちゃん訪問等でパンフレット「子どもの救急ミニガイドブック」の配布による啓発</p> <p>○掲載した保健センターガイドを全世帯に配布</p>	<p>○赤ちゃん訪問・面接時にパンフレットの配布（244人）</p> <p>○掲載した保健センターガイドを全世帯に配布</p>	A	健康介護課
		杉戸町	<p>○ママパパ教室やこんには赤ちゃん訪問時に、「上手なお医者さんのかかり方」について保健指導を実施する。</p> <p>○小児救急電話相談「#8000」や埼玉県救急医療情報センターのシステム及び小児休日診療の啓発を行う。（保健センター年間計画表・広報等への掲載・赤ちゃん訪問時）</p> <p>○冬季に実施している小児休日診療については、乳幼児健診時・訪問時などにチラシを配布するとともに、各医療機関・公共施設にポスター掲示またはチラシを設置し、周知を図る。</p>	<p>○ママパパ教室やこんには赤ちゃん訪問時に、「上手なお医者さんのかかり方」について保健指導を実施した。</p> <p>ママパパ教室延参加人数：127人</p> <p>○小児救急電話相談「#8000」や埼玉県救急医療情報センターのシステム及び小児休日診療の啓発を行った。（保健センター年間計画表・広報等への掲載・赤ちゃん訪問時）</p> <p>○冬季に実施している小児休日診療については、乳幼児健診時・訪問時などにチラシを配布するとともに、各医療機関・公共施設にポスター掲示またはチラシを設置し、周知を図った。</p>	A	健康支援課